

# 町の中で「糸魚川―静岡構造線断層帯」の調査観測が始まります

文部科学省では、地震発生可能性が高いと評価された「糸魚川―静岡構造線断層帯」において

○長期的な地震発生時期、地震規模の予測精度の向上

○強震動の予測精度の向上

○地殻活動の現状把握の高度化等  
地震発生前・後の状況把握を図るために、東京大学地震研究所を幹事機関とし、平成14年度から3年間計画で、パイロット的な重点的調査観測を行っています。

糸魚川―静岡構造線は、諏訪湖



広帯域MT法測定器：シートの中にはバッテリーと測定器が入っている。シートには決して触れないでください。

を挟んでその傾きや形状が大きく変わっていることが指摘されています。

探査箇所・方法は

1. 釜無上流から先能・机・乙事のラインを「反射法地震探査」

の方法で、人工起震車（パイプロサイト車）を使い人工の微振動を発生させて地面を揺らし、その振動を測定します。

重力探査では、測線上の100m間隔の点で、重力計を用いて重力を測定します。振動騒音などは一切発生しません。

2. 青木の森から木の

の間・横吹・芋の木を通る乙事ラインを「広帯域MT法測定」の方法で、雷や磁気嵐で発生する自然界の電磁場を信号源として、それが大地の構造によって起こす微弱な電磁誘導を観測することによって地下構造（比抵抗：地下の電気の通りにくさ）を解析することができます。

ます。

3. 1のラインと現在微小地震活動がある、諏訪湖南の高遠町と町の周辺に1〜1.5km間隔に臨時地震観測点を50点展開する「周密アレー自然地震観測」です。

探査は早いもので8月25日から始まり10月上旬までつづきます。始まりましたら、観測機材にいたずらの無いよう、またスムーズに調査が進んでいきますように協力をお願いします。



人工起震車

## パソコンメーカー等による家庭系パソコンの回収リサイクルについて

資源有効利用促進法にもとづき、家庭から排出される使用済みパソコンの回収・リサイクルをする「PCリサイクル」が10月1日から開始されます。これは、消費者とメーカーが協力しながら、使用済みパソコンを再資源化することにより、廃棄物の削減と資源の有効利用の促進を目指すものです。

■リサイクル料金  
PCリサイクル開始後の製品には「PCリサイクル」マークの表示が付きまます。

このマークが付いたパソコンは排出時に消費者がリサイクル料金を負担することなくメーカー等が

使用済みパソコンを引取ります。「PCリサイクル」マークのないパソコンについては、メーカーが有料で引取ります。

\*現在、富士見町ではPCマークのない製品については、当面従来どおり粗大ごみとして無料で収集しています。

家庭系PCリサイクルについての詳細は各パソコンメーカーにお問い合わせください。

■問い合わせ

電子情報技術産業協会  
0352827685  
ホームページ  
<http://www.pc3r.jp>

### 【リサイクルマーク】



### 【対象機器】

●個人で購入し不要になった



デスクトップパソコン ノートパソコン CRTディスプレイ 液晶ディスプレイ